

事例  
11

山形県

机上だけの作業に留まらない行動力と知見で、  
新たな手法・技術を導入し課題を提示雇用  
契約  
(フルタイム)

## アヒコファインテック 株式会社

電子部品・光学部品向け光学ガラス、材料等の  
形状加工・研磨・切断・成膜の一貫生産

所在地 山形県新庄市

創業年 1986年

従業員数 97名



## 支援の流れ

01



抽出された経営課題

サプライチェーンに  
おける製品課題の  
明確化と顧客共有

02



プロ人材に与えられたミッション

製品品質の向上に  
向けた仕組みづくり

03



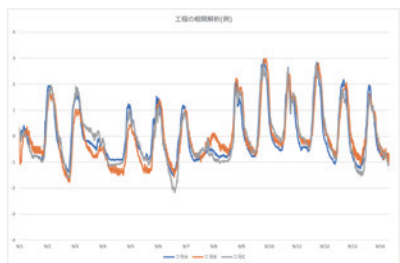
プロ人材がもたらした効果

品質データの統計的  
解析、品質向上の  
ための改善策

01

サプライチェーンにおける  
製品課題の明確化と顧客共有

当社の取引先は大手企業が多く、取引先が採用する電子部品・光学部品向けガラスの要求品質は年々高度化しています。また、その品質を保証するデータにも、測定データに加えて製品に関する知見が求められる場合があります。それらを、取引先と同じ土俵の上でやり取りし、議論できるスキルを持つ人材を育成・確保することは長年の経営課題でありました。また、製品品質を作り上げるまでのプロセスに対して経験・知見があり、それらを改善する手法を知る人材は貴重であり、それらの課題確認から候補者選定、採用後のフォローアップまで、プロ人材拠点から数回の訪問を受けました。



製造現場で日々蓄積される種々のデータが可視化された形で定期的に経営層を含めた関係者と共有されるようになりました。課題がより明確になり、解決に向けての意思決定を早める事につながっています。

02

製品品質の向上に向けた  
仕組みづくり

取引先からの製品品質要求に対する改善は、製品そのものやプロセスの改善を含めて継続して行っています。但し、その改善を計画し、指揮し、必要に応じて設備投資も含めて実行するためには、改善のストーリーを描き説得力をもって周囲をけん引する必要があります。特に高度化する要求品質を満たすためには、当社だけの経験に加えて新たなチャレンジも必要です。品質改善のためのプロセスの確立を、ミッションとして担当してもらっています。

03

品質データの統計的解析、  
品質向上のための改善策

当初品質データの確認や統計的処理を担当しました。数か月後には、これまで当社が行ってきたデータ処理だけでなく、新たな統計的手法や自動化技術を導入し品質課題を提示しています。また、その品質課題を特定するために必要な装置や環境を提示したり、改善策の提案もありました。その過程では、机上での作業だけに留まらず製造現場や検査現場にも入り、必要ならば通常人の入らないスペースの確認まで行っています。その行動力と知見が、周囲への説得力にもつながっています。

## プロ人材【入社時のプロフィール】



小澤 寿哉 氏

役職名：製品課 課長  
年齢：57歳  
家族構成：単身赴任（東京に妻、娘）  
出身地：福島県 還流ルート：Jターン  
業務遂行手段：事務所の業務

主な経歴：精密機器メーカー（半導体関連事業）、  
半導体用計測装置メーカー

長年、半導体用フォトマスクに関連する生産技術や計測装置などに携わってきましたが、娘の大学進学を機に新しい仕事にチャレンジしようと考え応募しました。業種的には少し違いますが、面接と工場見学を通じてガラス精密研磨のモノ造りの中で今までの評価技術の経験や知見を活かして会社に貢献できると感じました。業務課題によっては専門性が必要となり一から勉強が必要になる場合もありますが、新たな知見を得られる事もあり仕事としてやりがいを感じています。

## 企業からの声



代表取締役  
安彦 宗一郎 氏

プロフェッショナル人材戦略拠点からマッチングについての提案を頂き、小澤氏と出会ったのは2年余り前。10年先まで続けられる仕事がしたいという小澤氏。そのスキルや知見等から弊社で活躍して頂けるイメージが湧きあがりました。現在は同僚とコミュニケーションをとりながら多方面で尽力いただいております。プロフェッショナル人材戦略拠点の方々には、このような出会いの機会を与えていただき、大変ありがたく思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。